水泳授業再開！

副校長　竹下　貴

昨年度は、新型コロナウィルス感染症拡大のため、水泳授業は中止。本年度は、「感染症対策を講じた上で水泳授業を実施。」という方針のもと、授業を行いました。「クラスの半分の人数で。」「ロッカーは市松模様。」「更衣中は無言。」「行き帰りはマスク着用。」「プールサイドでは２mの間隔。」「シャワーは少人数で。」「先生は水泳用マスクを必要に応じて着用。」などのルールを徹底しました。また、事前に「コロナ禍での水泳指導」について教員研修会を開き、授業に臨みました。１年生だけでなく、２年生も初めての小学校プールです。３年生以上は久しぶりの水泳授業に緊張気味でしたが、すぐに慣れました。週1回の水泳授業でしたが、子どもたちはルールをしっかり守り、約2年ぶりとなる水泳授業を楽しんでいました。

校内の壁面塗り替え

教頭　林　英男

PTA会長のご厚意により本館と西館の壁面の一部がリニューアルされました。

コロナ禍の中、子ども達は、在宅学習を行ったり、外部での活動が制限されたり、これまで当たり前であった生活を送ることができていません。児童がより快活に学校生活が送れるようにと壁面を鮮やかに塗装していただきました。写真①は、壁面下部をピンク色に塗装した第4階段と昇降口付近です。写真②は西館6階スカイホール前の壁面です。もともとは白を基調とした普通の壁面でしたが、若手の女性の職人さんが、空に輝く太陽をイメージし、手作業で塗装してくれました。その作業風景は NHKのドキュメンタリー番組として撮影され、後日放映されました。

写真①

写真②

参観授業WEB配信

メディア教育部長
神田 孝央

緊急事態宣言は解除されたものの、未だコロナへの不安が拭えない中、小学校では各学年の参観授業と個人懇談会をオンラインでも配信することとしました。参観に向けては、教室の広さと児童の配置を計算し、全ての児童の発言を拾えるように全方向のマイクを 5本各所に設置するとともに、教室中央にスピーカーを設置しました。中央に配置したカメラを担当者が動かすことで、子どもたちの様子が分かりやすい環境を作り上げました。参観以外にも、オンラインで参加する児童に向けても準備を進めました。事前に教材をデータで送り、専用の電子黒板を用意することで、双方の児童の様子を見せることができ、全員が近くにいる感覚で学習を進めることができました。